



2011.1.16 司教様を囲む新年の集いのミサ (布池教会)

平和があるように

助任司祭ニコ・コンデイ

だれでも不安あるいは恐怖という感じを体験したことがあります。例えば、何かをする時に、「このことをすると、もしかしたら、失敗するかもしれない、このことをやってみよう」と、誰かに叱られるかもしれない、この仕事をしたいけれども、うまくいくのか、いかないのか、などといるような不安や恐怖とかがわいてくるのではないだろうか。しかしそれらの不安や恐怖がある時に、誰かが「大丈夫です。安心しなさい。」と書いてくれたら、その言葉がすごく力になって、安心させられるという気持ちが湧いてくると思います。

初代教会の弟子たちも不安や恐れ、気持ちを体験したことがあるのです。イエスが「お亡くなりになった後、弟子たちは心を閉ざし、家の戸にも鍵を掛けて隠れるようにしていました。誰に従って生きていけばよいのか、何を頼りに生きていけばよいのか、全く分からなかったからです。また弟子たちはユダヤ人たちのものをすごく恐れていました。ユダヤ人たちがイエスを殺しましたから、おそらく弟子たちはユダヤ人たちがイエスと同じように自分たちをも迫害し、殺すのではという不安や恐れがあったのです。

このような状態の中で、復活されたイエスは現れて、慰めの言葉、力ある言葉を言ってくださったのです。「あなたが

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日午後3時30分

第九回運営委員会議事録

2011年1月9日

司祭団より

たに平和があるように」と言われました。この言葉は日常の生活にも使われますが、復活されてイエスに出会う前の弟子たちの不安と恐怖、心の闇を思うと特別な意味があります。イエスは弟子たちに「これから不安と恐れということはありません。私はあなたたちと共にいるから、安心しなさい、心配しないでください」ということを言ってくださったのです。イエス様はこの平和を、弟子たちに平和の使者として使命を与え弟子たちを通じて、今日私たちに与えられ、さらに私たちを通して、多くの人々に、この平和を与えることをお望みになりました。だからこそイエスは「平和があるように、父が私を使わしたように、あなた方を使わす」と言われました。

教会案内五千部作成完了。クリスマス等で配布開始。

中庭の松の木や司祭館周囲の木の剪定を司祭館の会計で実施予定。予算23万円

報告事項

1 年末・年始のミサ、成人のお祝いについて

23時のミサ92名参加、前年は70名程度。年々増えてきている。

新年のミサでは新成人の祝福5名。その後のパーティーは30名が参加。

2 中庭の漏水について

弟子たちのように、平和を出会う人々に分かち合わなければなりません。イエスからいただいた平和を自分の喜びだけでなく、その喜びと平和に触れたことのない多くの人々に伝える使命があります。これこそがキリスト者の責任であり、使命でもあります。聖霊に導かれて、この使命を果たしてまいりましょう。

12月20日、中庭の半分ぐらいが水浸しになっていました。水道管が破裂して噴水のようになっている状態。専門委員の池田さんと相談の上、小さな工事に対応完了。聖堂の水道管工事と同じ会社に依頼しました。おそらく、以前の工事費の中にかんりの部分を吸収していただけと思われる。

3 次年度各会運営委員

各会で人選を行い、3月6日の運営委員会で集約する

4 野村司教様のご様子

肺ガンの疑いがあり、肺の四分の一を切除。しかし、ガンではなかった。その後、すぐ公務に戻られたが、十二指腸潰瘍の出血から貧血となり、静養されていた。現在はかなり快復していて、クリスマスミサは司式された。AJUの新年会には元気に出席され、挨拶もされた。

審議事項

1 クリスマス関連反省

ミサ参加は、合計で千五百人ぐらいだった。これは、例年より多い。

キャンドルサービスがやや物足りなかつた気がする。その他のことも含めて典礼委員会で詳しく検証し、来年度改善したい。

ヨセフ会の8班、2班、3班で20時のミサ当番を行った。丸いすは倉庫のものを全部出した。細部で確認の必要なことがあるため、典礼委員会との連絡をしっかりとっていききたい。体調不良への対応として、控え室に毛布を用意し、お医者様と看護師さんにも事

前に依頼をした。

16時のミサにも当番はいたほうが良い。

今後につながるミサ当番業務のマニュアルが作成された。

駐車場については、男子部の駐車場は満車となった。聖堂周囲も満車だったが、パーティーのお手伝いの方の車を置いていただいた中庭には若干の空きがあった。来年度も駐車場の確保としては、これでよいと思われる。ヨセフ会1班とボーイスカウト、松浦で整理を担当したが、人数的にこれで良かったと思う。来年度への申し送りとして、足の不自由な人や特別な事情のある方のために聖堂周辺の駐車スペースを数台分空けておくことを挙げたい。聖堂周辺の駐車では、クリスマスに限らずいつも救急車を通るスペースを空けておく必要がある。

パーティーは、有志の皆様のご協力により、盛大に行うことができた。ご協力に大変感謝している。昨年度のクリスマスと今年度の御復活、今年度のクリスマスがうまくできたと思うので、今後このやり方で進めていって良いと思われる。

周辺住民の皆さんにクリスマス

ミサについて知ってもらいた
め、案内のチラシを二千部五千
円で中日新聞に挟み込んでも
らった。毎日新聞にも新聞社の
企画に乗る形で3万円の広告記
事を出した。

ホームページへのアクセスが
12月23日、25日は激増した。通
常1日60件程度だが、23日は百
件、24日は二百件、25日は三百
件超のアクセス数だった。

クリスマス前の鐘を
鳴らした。これは楽しみにして
いる方もいらつしやる。

鐘の操作で不明の部分があ
る。竹中工務店に尋ねる。

今後、鳴らす回数を増やして
いきたい。

2012年全国カトリック
障害者連絡協議会名古屋大会に
むけての支援依頼

参加者の交通費が一律五千円
になるようにしたい。そのため
には、名古屋教区全体で三百万
円くらいの募金が必要となる。
小教区での募金は、司教様の書
面による許可が必要なので、司
教様に確認の上、募金を実施す
る。その際、ミサ後に説明と募
金の依頼をする。

3 青年会の現状と問題点、サポーターについて

当初10名ほどの参加があった
が、ここ数ヶ月は3、4名の参
加。

ニコ師の指導による月2回の
聖書研究と情報交換が主な内
容。

活動が活発になり、若い方々
も活躍できるよう教会全体で支
援をいただきたい。

集まりの内部でも活動をどう
していきたいか話し合うべきで
ある。

具体的なボランティア活動へ
の参加もしていつてはいかがが
か。ボーイスカウトのスキーや
水泳訓練には人が必要。

具体的な活動に協力してもら
うことは集まりに入りやすい状
況も期待できる。

4 教区年間テーマを受けた小教区の具体的な取り組みについて

テーマは「福音と生活」
1月15日(土)のお知らせから
取り組みの具体案募集のお知ら
せをしてはどうか。

2月運営委員会(2月6日)
に決定し、2月12日(土)のお知
らせから周知。

5 来年度予算の作成について 財務委員長伊藤恭輔氏より説明があった。

大変厳しい予算を組まざるを
得ない。

収入は、今年度の11月と昨年
度の11月を比較し、実績をもと
に計上した。

支出は、できるだけ削減した
が、各活動会の予算は、今年度
とほぼ同額で計上した。

会の事情により若干の変動は
ある。

調整の必要などころは今年20
日までに伊藤氏に報告。25日に
は神言会へ報告。

来年度長崎でミニバチカン展
を実施予定。広報委員会の予算
は、これに向ける。

今後、厳しい状況が予想され
るので、教会維持費納入の意識
を高めるためのアイデアをいた
だきたい。

以下のようなアイデアが出さ
れたが、引き続き考えていく。

- ・封筒を月1回聖書と典礼に挟
み込んでいく。
- ・イグナチオ教会のように月一
回維持献金の日というのを位置
づける。

・御復活の頃に教会維持費に関

するお知らせ文書を出すことも
有効。

- ・維持費をどれくらい出したら
良いか分からない人のために、
目安を文章で示す。
- ・手紙の発送も意味がある。文
書を出す場合は、まず感謝を。

6 その他

今年9月の城東ブロックの集
いの当番は南山教会。どんな集
いにするか2月の運営委員会で
話し合いたい。アイデアをいた
だきたい。

各会報告
典礼委員会

12月24日 クリスマス前夜ミサ
16時20時24時

12月25日10時 ご降誕ミサ
12月31日23時

1月1日10時 神の母マリアのミサ

1月9日 神の母マリアのミサ
中高生のための
朗読講習会

2月20日 堅信式

マリア会
1月14日 新年会

ヨセフ会
1月23日 新年会

第十回運営委員会議事録

2011年2月6日

手話の会

12月12日聾者7名とともにクリスマス交流会を実施。

その後、担当司祭のニコ師のお話を聞き、軽食を楽しくいただきました。

1月か2月中に聾者の先生をお招きして講習会を行う予定。

大樹の会

1月16日お茶の会と新年会をマリア館和室にて行う予定。

英語ミサ

小パンフレット英語版を提供してください。感謝。できれば、日本語版も数部いただけるとありがたい。たまにいらつしやる日本人向けに必要なのと、お知らせの把握のため。

子供部屋

青年会と似た悩みをかかえている。運営委員会において、根本的なことから話し合う機会をいただきたい。

青年会

本日の審議を受け、皆様のご意見を参考にしながら新しい取り組みをしていきたい。

司祭団より

樹木剪定

中庭と司祭館周辺の樹木剪定を行った。専門家によれば、4年に一回程度は剪定が必要とのこと

子どもミサ

2ヶ月に1回行う予定。

次は3月20日、その次は5月22日。

報告事項

1 次年度各会委員報告再確認

・各会でも人選を行い、3月6日の運営委員会で集約する。

2 司教様を囲む新年の集い

大勢の参加があった。

司教様が快復されていて、ミサの司式をしていただけたのは良かった。

3 鐘の鳴り方の件と難聴者用の補聴器の電池について

補聴器の電池はニッカド。市場に回収らなくなってきた。市が、何とか新品を見つけて購入することができた。現在の充電器はニッカド用であり、最近の充電電池には対応していない。

会担当の取り組みについて

正午にならず設定で毎日稼働中。しかし、鐘の動作は不安定。現在原因を調査中。

4 2011年全国力障連名古屋大会支援依頼について

司教様に確認したところ、教区司祭と協議の上、決定することだった。

5 信徒協役員候補辞退について

南山教会から神戸氏が推薦され、城東ブロックからも選ばれて、教区での選挙に臨むことになっていった。しかし、お仕事が大変忙しい状況となり、信徒協との両立が不可能なため、役員候補を辞退された。

3 教会維持費の信徒への周知徹底方法について

案内方法として文書を発送するのか、袋を配るのか、1月に続き検討した。

4 修繕費の積み立てについて

教会施設の修繕のため、例えば第3週の献金は修繕費として積み立てるとか、毎回の献金の何%かは修繕に積み立てるとかの基準ができないかを検討。

審議事項

1 教区年間テーマに基づく南山教会の取り組みについて

信徒の皆様からのアイデアをもとに検討した。

2 城東ブロックの集い(南山教会)

教会内部に閉じたことを考えるだけでなく、福音を広げることとを考えた。

3 教会維持費の信徒への周知徹底方法について

案内方法として文書を発送するのか、袋を配るのか、1月に続き検討した。

4 修繕費の積み立てについて

教会施設の修繕のため、例えば第3週の献金は修繕費として積み立てるとか、毎回の献金の何%かは修繕に積み立てるとかの基準ができないかを検討。

営繕委員会を設置し、修繕やメンテナンスを計画的に行う体制をつくることも必要。

必要経費も営繕委員会に算出していただくのが良い。

納骨堂の設置やその他の動きとも連動しながら考えていく必要がある。

信者会館の2階トイレは現在使えない。

対応は優先順位をつけて、計画的に行っていく。

積み立て、営繕委員会の設置とも進めていく。

次回運営委員会でも継続審議。

5 城東ブロック会議の報告と次期代表者選出について

宣教師牧評議会、信徒協会の議報告、世界祈祷日の実施についての報告があった。

9月25日に南山教会で城東ブロックの集いが行われる。

2011年度の議長教会は南山教会。代表者を男女各1名出す必要がある。

男性は来週ヨセフ会班長会にて決める。

女性は3月の例会にて決める。

多機能型支援施設は今年度も

見送り。

米の一握り運動についてはいろいろ検討中。

世界祈祷日には、特にチリの女性のために祈りが捧げられる。チリでは、現在も女性差別が続いている。栄の日本キリスト教団名古屋中央教会にて行われる。

6 掃除機購入

聖堂掃除用の掃除機が不調なので、新規に購入する。

各会報告

典礼委員会

1月9日中高生のための朗読奉仕講習

1月23日子どもミサ

(次回は3月20日、その次は5月22日。今後2ヶ月に1回くらいの実施予定)

1月30日典礼委員会総会

2月13日典礼委員会

2月20日堅信式

9時からリハーサル

3月9日灰の水曜日

ミサは7時と19時

この日以降四旬節につき、主の教会の祈りはお休み

十字架の道行の祈りを捧げま

す。土曜日は14時10分から、日曜日は9時10分からです。

3月9日に灰を受けられなかった方のために、12日13日のすべてのミサの閉祭直後に灰の式を行います。

3月20日典礼委員会

3月21日名古屋教区典礼研修

典礼奉仕者の会

1月1日10時ミサ
新成人による朗読

1月23日 子どもミサ

2月20日 堅信式

3月9日 灰の水曜日 19時ミサ

手話の会

引き続き運営委員は小澤がさせていただきます。毎日曜日11時からマリア館1階集会所で聾者と共に日常手話、カトリック用語での学び合い、ミサ通訳者が育つように願っています。また、教区内の聾者とともにクリスマス、イースター、勉強会等計画しています。(交流)

要約筆記の会

2月11日12日教区障害者黙想会にOHCを付ける。

レジオマリエ

宣司評への年間報告を作成

ヨセフ会
1月23日に新年会実施。
28名参加

英語ミサ

できれば、マリア館に教会のお知らせを置いてほしい。同時に日本語の聖書と典礼を1冊おいていただけるとありがたい。

2月20日日英合同ミサ

ボーイスカウト

スキー訓練

1月28日〜30日岐阜県朴の木平で無事終了。41名参加

キリシタン受難の歴史学習

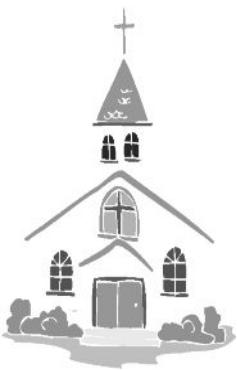
1月23日(日)東別院近くの栄国寺見学。参加者40名。その後、大須スケートリンクでアイススケートの訓練を行った。

新春餅つき大会無事終了

10臼をつきあげる大成功!

福音館バザー

3月27日10時から14時実施
金券販売中



愛と苦しみ (その24)

人間の癒しの源であるキリストの受難と復活

B・ノヴァク神父

7 愛の完成へのペトロの道

イエスが選んだ十二人の使徒の一人であったペトロの体験と彼の成長振りは、愛の完成への道を表わしています。他の聖人の生き方と同じように、ペトロの生き方にも、私たち自身の道、つまり父である神が私たち一人ひとりのために整えてくださった道を歩むために役に立つヒントを見出すことができると思います。

7.1 イエスとの出会い

「イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが、湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。イエスは、「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう」と言われた。二人はすぐに網を捨てて従った。」マタ 4・18、20

ペトロはイエスと出会う前どのような生活をしていたかという点について、あまり情報がありません。彼の元々の名前は、シモンでした。ペトサイダの出身であったシモンは、ヨナの息子で、彼にアンドレという名の少なくとも一人の兄弟がいました。漁師であったシモンは結婚してから、ペトサイダからカファルナウムという町に移って、そこに住むようになったという点も知っています。それを見ると、シモンはイエスと出会うまで、他の多くの人と同じように生き、割合安定した生活を送っていただろうということになります。彼の町に住み、病人を癒したり、悪霊を追い出したりしていたイエスについて聞いたにちがいありません。この有名な先生は、いきなり彼の家に来てくださいました。病床に伏していたイエスを見たか、彼の友人た

ちがイエスを連れてきたかということは分かりません。もしかして、イエスは自らシモンの家に行ったかもしれません。おそらく、シモンはそのとき初めてイエスと出会っただけではなく、初めてイエスの不思議な働きを自分の目で見ただけでしょう。けれども、この出会いはシモンの人生を変えることはありませんでした。その後、カファルナウムに留まり、漁師の生活を続けていました。彼の人生には、イエスのための場所がまだありませんでした。

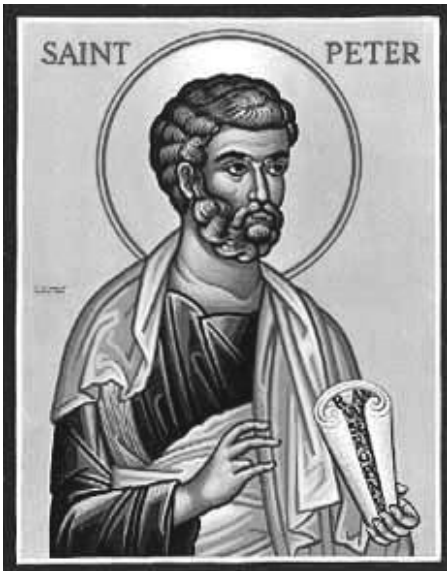
シモンが再びイエスと出会ったのは、ガリラヤ湖のほとりで、丁度仕事を終わろうとしていたときでした。イエスは、シモンに手助けを求めました。有名な先生が教えるために彼の船を使ったのは、シモンにとって大きな誇りだったはずですが、けれども、教えが終わった後にイエスはシモンに網が破れそうになるほど多くの魚というプレゼントを与えてくださったので、シモンはその恵みに全く相応しくない人間であると感じました。この経験は、文字通りに、ペトロに片ひざをつかせまし

た。シモンはイエスが自分から速やかに離れるようにと願ったほど、イエスの偉大さに対して小さく感じましたし、イエスとの出会いには苦しい面もあったでしょう。けれども、イエスはシモンのこのような頼みに応じませんでした。シモンを落ち着かせてから、彼の人生の決定的な変化を予告しました。おそらく、シモンはイエスの言葉の意味がはっきりと分かりませんでした。この言葉において今までのよりも優れて、価値や意義のある人生の可能性を見出して、すべてを置いて、イエスに従うことにしたでしょう。

参照…ルカ 4・37・39、5・1・11

7.2 信仰の成長

「イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。すると、イエスはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いだ。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。」マタ 16・15・17



シモンはイエスに従った多くの業をなさるイエスの姿を見た弟の弟子の中から選ばれた12人の子たちは戸惑い、「いったい、使徒の一人になり、「岩」を意この方はだれだろう」(マコ味するペトロという新しい名を 4・41)と驚嘆していました。イエスご自身から与えられました。ペトロは、他の使徒たちより。他の使徒と同じようにペトも早く、イエスがメシアで、神口もイエスがメシアで神の子での子であると信じようになつあるということが最初から分て、それを公に告白しました。かつたのではありません。この確かに、その時ペトロはすでに事実を知ったのは、イエスのそイエスが誰であるかということばに長い間いて、イエスの教えを正しく認識していましたが、を聞いたり、イエスの行いを見まだイエスを知るようになってたりした結果、つまりイエスのいませんでした。というのは、力と愛を体験した結果でありまイエスがメシアであるというこした。使徒たちは、イエスのそと、または神の子であるというばに長くいればいるほど、イエことを知っていても、ペトロスによって益々驚かされましは、イエスに関して「メシア」他のイスラエル人と同じように、メシアが政治的な権力を得て、王としてイスラエルを支配すると考えていました。この間違った考えた。この間違った考え方に基づいて、ペトロは、イエスに対して「色々な期待を持っている」とおそらく、他の使徒と同じようにペ

トロは、イエスがイスラエルの王になつたら、イエスに選ばれ12人の一人として、その富や権利、または王の様々な特権にあずかるようになると思つて、その時どのような生活を送れるかと想像したり、それを楽しみにしたりしたでしょう。この根拠のない期待は、イエスとの摩擦の原因にもなつたのです。イエスは、ペトロの期待と違う終わり方、即ちご自分の働きの終末は、王になることではなく、大きな苦しみを受けた後、十字架に付けられ、殺されることであると話し始めたら、ペトロは非常に驚きました。イエスがメシアであると信じたペトロにとつてそれはありえないことで、ペトロは弟子であるということを忘れて先生であるイエスを叱ってしまったほど受け入れられがたいことでした。ペトロのこの失敗は、イエスにとつて、教えるチャンスでした。マタイ16章の23節に書かれたあるイエスがその時にペトロに語った言葉は、「引きさがれ」とか、「わたしから離れ」とか、「おそらく、他の使徒と同じようにペ

葉を直訳すれば、「私の後に行くべきなさい」となります。この言葉は、ペトロを退けようとしたのではなく、弟子であったペトロのいるべき場がイエスの前ではなく、イエスの後にあるということを思い起こさせようとした。イエスがペトロの想像や期待に合わせるべきではなく、ペトロが間違っている考え方や習慣を放棄する覚悟をもって、先生であったイエスの導きに従うべきであると教えたわけです。それから、ペトロの間違いの原因は、彼が、「神のことを思わず、人間のことを思っている」、つまり、自分の野心や欲望に従い、根拠のない期待を満たそうとするため、神の導きに従うことや、神が彼に与えたい賜物を受け入れることができなくなっているということを教えました。ペトロが自分の望みに従う人、自分の感情に振り回される人から、神の望みに従う人になるために、長い時間と沢山の体験を必要としました。

参照…マタ 14・25・31；ヨハ 6・60・66・69・16・13・26
(つづく)

中高生のための朗読講習会

典礼委員長 新内飛鳥

去る1月9日、お知らせにもありましたが、中高生会が朗読奉仕のための学びを深めました。男女合わせて18名の参加がありました。小聖堂に集合し朗読奉仕における一般的な話と南山教会に於いての特性とを学んだ上で、実際に朗読奉仕をする上での声の出し方や、ふさわしい表現の仕方などを確認し一人一人交代で当日の箇所を朗読しました。

聖霊会のシスター梅村に朗読奉仕の重要性を示す話として「たった一行の聖句が人の心を救うことがある」と言葉を頂戴し、参加者の心に響いたことと思えます。その後、大聖堂に場を移し朗読台へ向かう時の通り道や手順、仕草、所作を学びました。

粉雪が舞う新春の餅つき大会

伊藤 宗太郎

去る1月16日(日)ボーイ97団は南山教会中庭で新年恒例の



餅つき大会を行った。雪がちらつき寒い朝だったが、元気よくスカウトたちが集合。かまどにマキ、石臼の保温、ダイコンの摩り下ろし。リーダーたちは電気餅つき器配備、雑煮やぜんざい、黄な粉の調理などにと忙殺された。

十時半に雪除けにビニール幕を張り、餅つきを調子よく開始した。石臼に挑戦しようと、子ども達が争って並んだ。ペツタン、ペツタンと餅がつきあがり、黄な粉餅、ぜんざい、雑煮、ダイコンおろしと、飛ぶように食べられてしまった。大成功！12時半までに十臼がつきあ

がった。

教会の皆さんや近隣の人たちとの親睦が一層深まり、また97団の存在感も高まって大満足。それに、スカウトの新規入団申し込みやボランティア参加の申し出が多々あり、大いに感激。恵み多い新年を迎え、神様に感謝！ アリガトウゴザイマシタ

厳寒のスキー訓練

伊藤 宗太郎

ボーイ97団は1月28日夜南山教会中庭を出発して、二泊三日のスキー訓練に出かけた。厳しい寒さにめげず、子ども達はい嬉々とバスに乗り込む。総勢41名だ。岐阜県朴の木スキー場は豪雪でふかふかした絶好の雪に覆われていた。29日も30日も薄日が差す日和であったが、さすがにブルブル震えるぐらい寒かった。

例年来ているスカウトたちは得意げにスイスイと滑っていたが、初心はヘッピリ腰でヨタヨタと指導を受けていた。だが覚えは速く、昼過ぎには格好良く滑走していた。全員が胸と背中ゼッケンをつけ、所在を確認して監視できるよう備えた。だ

が、リフトに乗って頂上まで登る子ども達を下からハラハラ眺めていた。

子ども達はキャーキャーと大はしゃぎで、スキーの醍醐味を満喫していた。スキー技術のレベルによって6クラスとスノーボード1クラスに分けた。スキーの教え易さと、スカウトたちがより上のレベルにチャレンジするよう配慮した。

三十日夜雪で道路が少し渋滞したが、7時半全員無事に教会中庭へ帰ってきた。タノシカッタネ！

クリシタン迫害の歴史を学ぶ

伊藤 宗太郎

去る一月二十三日、ボーイ97団は友団の58団と合同で、名古屋別院近くにある栄国寺を訪問した。58団スカウトの親族である和尚さんからクリシタン迫害の遺品についてテイネイな解説を聞いた。スカウトたちは隠れクリシタンの苦難の歴史を実感でき感動した。

その後、スカウトたちは大須のスケートリンクに入場し、アイススケートを楽しんだ。浅田真央気分ですい、スイと滑り、冬の日曜日を過ごした。カンゲキ！ タノシイ！

突然の幸運

聖霊会 小笠原 玲

故ヨハネ・パウロ二世教皇が最初にアメリカ合衆国を訪問されたのは1979年10月でした。10月6日には首都ワシントンの国会議事堂前の広場で野外ミサが計画され、その前に、修道女のために朝の祈りと講話が、ワシントンにあるアメリカ最大のカトリック教会、聖マリア大聖堂で行なわれました。その前年からワシントンにある大学で勉強中のわたしは、週末に帰っていたメリーランド州にある聖霊会の修道院からバスで2区の大聖堂へ、ポーランド系アメリカ人の修道院長St. Thomasと一緒に出かけました。当時アメリカの修道女たちは意気軒昂で、女性の司祭を許可しないバチカンに反対するウーマンリブのシスターたちが、青いリボンを胸に着けて正面入り口前で賛同を呼びかけていました。

目近に見たい一心で、靴のまま祈禱台の上に立ち上がって騒ぎ出したのには度肝を抜かれ、背の低いわたしはとても拝見することはできませんでした。

そこを出て野外ミサに向かう前、地下のお手洗いを利用したわたしを待っていたSt. Thomasが、今警備のアルバイトの学生が、教皇様がまもなくここをお通りになると教えてくれたので、ここで待ちましようと言われました。このマリア大聖堂は、広場を挟んだ反対側にあるカトリック大学と地下でつながっていて、教皇様は修道女へのお話の後、カトリック大学の学生に短いお話をされて戻られるところだったのです。廊下でお待ちしているとまもなく大司教様方に従われて教皇様がお通りになられました。わたしの左隣にいた女性が急に手を出して教皇様の手に触れたのを見て、わたしも構えていたカメラを降ろし同じように教皇様の手をつかみ、「来年日本でお待ちしています」と叫びました。日本への最初の訪問が既に発表されていたのを知っていたからです。これは思いもかけない恵みのときでした。St. Thomasには「教皇様と握手したては洗わないで、修道院に帰ったらみんなに握手してあげなさい」と言われました。

これが思いがけない最初の出会いで、その後ローマで行なわれた1980年、1986年、2002年と6年ごとの聖霊会の世界各地からの代表が集まる総集会に参加し、そのつど聖霊会のグループだけの教皇謁見で直接お目にかかることができました。1988年には、これもローマで行なわれた神言会と合同の国際第三修練で、夏季別荘のカステルガンドルフの庭で参加者だけが教皇様のミサに与ったこともありました。ローマ滞在中は、聖ペトロ大聖堂前の広場で行なわれる列聖式、列福式や大祝日のミサにも何度か参列し、教皇様が徐々に体の自由を奪われていく様子に心を痛めていました。この度の列福のニュースに喜んでいられるものの人です。

ヨハネ・パウロ二世
教皇様が選出された日

小知和 優江

新学期の始まりは、新教皇様が選出された時ということで、教皇選出の当日、幸いにもサン・ピエトロ大教会の広場にいました。なかなか白い煙が出ません。ようやく出ると長い沈黙に包まれました。まもなく「ヴォイテイワ」「ヴォイテイワ」という名が流れてきました。どこの国の人かわかりません。すると、「ポラコ」(ポーランドの人)、「ポラコ」という言葉が伝わり、にぎやかで陽気なイタリア人が一人、又、一人と静かに立ち去っていきました。

初めてのイタリア人でない教皇様選出に、ショックを受けたのでしょうか。しかし、その後の教皇ファン・パウロ二世の評判は大変なものでした。巡礼者との集いの時、イタリア語をまちがえると、笑いがおこり、教皇様が、「パーパがイタリア語をまちがえたからおかしいでしょう」と、更に大きな笑い。気さくで、親しみやすい教皇様の態度は、イタリア人だけでなく、世界中の人々を魅了していきましました。

カトリック南山教会 2011年度予算案

宗教活動一般会計収支計算書(2011.4.1～2012.3.31)

〔収入の部〕

単位:円

科目	2009年決算	2010年予算	2011年予算
維持献金	17,643,350	17,500,000	17,700,000
ミサ献金	6,612,842	6,300,000	6,500,000
祭儀献金	3,405,000	7,000,000	4,500,000
墓地料収入	900,000	0	300,000
その他献金収入	4,216,457	7,500,000	4,500,000
献金小計	32,777,649	38,300,000	33,500,000
特別献金収入	1,948,607	1,200,000	2,000,000
受取利息	19,330	40,000	20,000
雑収入	76,559	70,000	80,000
収入合計	34,822,145	39,610,000	35,600,000

〔支出の部 続き〕

単位:円

科目	2009年決算	2010年予算	2011年予算
建物修理	140,000	3,500,000	150,000
オルガン修理	26,250	300,000	300,000
保守管理費	1,792,953	2,200,000	1,700,000
環境整備費	0	500,000	200,000
その他	1,388,100	100,000	1,350,000
修繕費小計	3,347,303	6,600,000	3,700,000
車両維持費	800,856	900,000	800,000
印刷費	909,347	1,000,000	910,000
事務用消耗品費	168,896	250,000	150,000
旅費交通費	0	10,000	10,000
通信費	1,412,570	1,800,000	1,500,000
消耗品費	1,083,527	650,000	500,000
水道光熱費	4,150,348	4,600,000	4,200,000
支払保険料	338,705	80,000	80,000
雑費	64,048	210,000	50,000
給料	7,365,480	7,400,000	7,400,000
雑給料	510,000	750,000	510,000
退職金	0	0	0
法定福利費	1,011,351	1,000,000	1,020,000
人件費小計	8,886,831	9,150,000	8,930,000
支出合計	34,426,477	39,610,000	35,600,000
消費収支差額	395,668	0	0

〔支出の部〕

科目	2009年決算	2010年予算	2011年予算
典礼書購入	479,439	300,000	450,000
聖具補充	59,039	200,000	50,000
花・ろうソク・ホスチア	576,748	600,000	500,000
儀典費小計	1,115,226	1,100,000	1,000,000
復活祭	190,506	180,000	180,000
堅信式	55,829	60,000	60,000
敬老の日	126,339	140,000	140,000
クリスマス	32,439	70,000	40,000
成人式	16,161	20,000	20,000
諸行事	62,731	100,000	100,000
集會費小計	484,005	570,000	540,000
宣教司牧費	731,148	800,000	750,000
墓地費	16,000	10,000	20,000
黙想会費	0	30,000	30,000
教区分担金	2,408,000	2,500,000	2,500,000
宣司評分担金	240,800	250,000	250,000
神学院助成金	500,000	500,000	500,000
その他寄付金	1,121,055	1,500,000	1,200,000
寄付金小計	1,621,055	2,000,000	1,700,000
運営委員会	0	20,000	20,000
典礼委員会	28,273	100,000	100,000
広報委員会	4,925	450,000	450,000
典礼奉仕者の会	117,819	50,000	230,000
大樹の会	0	30,000	30,000
ヨセフ会	2,400	130,000	130,000
マリア会	46,116	150,000	150,000
青年会	12,000	50,000	50,000
中・高生会	270,917	400,000	400,000
中・高生父母の会	16,410	100,000	50,000
教会学校	499,778	630,000	600,000
子ども部屋	41,938	50,000	50,000
レジオマリエ	0	0	0
ボーイスカウト	230,000	230,000	230,000
信徒協	8,675	30,000	30,000
南山手話の会	21,918	50,000	50,000
要約筆記者の会	27,196	40,000	20,000
英語ミサ	10,840	30,000	30,000
諸活動費小計	1,339,205	2,540,000	2,620,000
司祭活動補助費	3,360,000	3,360,000	3,360,000
特別献金支出	1,948,607	1,200,000	2,000,000

① 収入は2010年度実績を加味して計上しました。
(墓地料収入は納骨堂残数分のみ)

② 支出は可能な限り削減して計上しました。

③ 各会の内、中・高生会、要約筆記者の会、教会学校は
予算を削減して頂きました。

平成23年1月20日

財務委員長 伊藤恭輔

ヨハネ・パウロ二世列福記念

『三二・バチカン展』

十字架の聖遺物（教皇庁証明書付）も公開



入場無料

■日時:

2011年2月12日(土) 13:00から17:30

2011年2月13日(日) 9:30ミサ後から17:30

■場所: 南山教会 マリア館ホール

展示予定

ヨハネ・パウロ二世前教皇様が来日前に日本語の練習されていたミサ典礼書、書斎で実際に使用されていたペン、祝福されたロザリオ10点、記念メダル20点、世界中に配られるサインカード50種類200枚、直筆の礼状、ローマでの一般謁見の時に手にされた日本語スピーチ原稿20点他展示。この機会に、ぜひ、福者ゆかりの品々に触れて下さい。その他前・現教皇様の写真100点、バチカン切手1000枚、ハガキセット等も展示します。

南山教会の信徒の皆様から、
ヨハネ・パウロ二世に関する思い出を募集します。
ご賛同下さる方は800文字程度の原稿にまとめて、
司祭か教会事務所へ提出して下さい。



カトリック教会のカテキズムより

- 1326 また、聖体祭儀によって、わたしたちはすでに天上の典礼に一致し、「神がすべてにおいてすべて」（一コリント15・28）となられるときに先だって、永遠のいのちに前もってあずかっています。
- 1327 要するに、エウカリスチアはわたしたちの信仰の要約であり、頂点なのです。「わたしたちの考え方はエウカリスチアに共鳴し、エウカリスチアはわたしたちの考え方を強固なものにします」。
- 1328 この秘跡の無尽蔵の豊かさは、多くの呼称によって表され、その呼称のそれぞれがこの秘跡のさまざまな面を浮き彫りにします。
エウカリスチアと呼ばれるのは、神への感謝の行為であるからです。エウカリスティン（感謝の祈りを唱える）（ルカ22・19、一コリント11・24）とエウロゲイン（賛美の祈りを唱える）（マタイ26・26、マルコ14・22）の語は、創造、あがない、聖化という神のみわざを（とくに食事の間に）宣言する、ユダヤ人の賛美の祈りを想起させます。

南山句会

平成二十三年一月十二日



みどり濃き青菜美し雑煮椀

筆を持つ日射しの淡き白障子

幸せはけふかも知れぬ福寿草

チェロの音の心に深く寒の朝

祝福の園児の真顔降誕祭

もろ人のつどひめでたし年始

恋歌の多き歌留多をひとり詠む

初詣かさねがさねの願ひごと

御厨子に紅絹ほのと寒牡丹

菊の香や手話ミサ捧ぐ司教様

床板の抜くるばかりに餅をつく

あるじなき庭にもしかとチューリップ

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

紀子 とき子 牧子 せつ子 洋子 ひろし 瑞子 幸男 義子 佐知子 光子 蓉子

信者の消息

転入

ようこそ

カタリ 森井恒子 (吉祥寺)
ジュリア・ベリアート 松原信子 (瀬田)
マリア・マグダレナ 平野優子 (五反城)
アグネス 谷藤明子 (布池)

帰天

ご冥福をお祈りいたします

エリザベト・マリア 高木日那子 (70歳)
クリスファ 白坂・ライト・マーク (59歳)
ベロニカ 安藤辰子 (83歳)
クララ 中島すえ子 (91歳)
アグスタチ 吉岡シズコ (88歳)

転出

いつまでもお元気で

使徒トマ 加藤尚史 (土浦)
マリー・ルネ 志富麻里 (菊名)

2011年2月・3月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
2月		20(日)9:30堅信式・日英合同ミサ	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)運営委員会 13(日)典礼委員会 13(日)ヨセフ会班長会 19(土)10:30子ども部屋 26(土)要約筆記付きミサ	16(水)四旬節愛の献金(四旬節中) 17(木)司祭協議会 24(木)司祭評議会
3月	聖ヨセフの月 9(水)灰の水曜日(大斎小斎) 13(日)四旬節第一主日	13(日)洗礼志願式 26(土)~27(日)南山教会四旬節黙想会・共同回心式	4(金)マリア会例会(懇談会) 6(日)運営委員会 13(日)教会学校卒業式 13(日)ヨセフ会班長会 19(水)10:30子ども部屋 20(日)典礼委員会 26(土)要約筆記付きミサ	17(木)司祭協議会